

理念

私たちは、患者さんの意思を尊重するとともに地域と連携し、高度のがん医療を提供します。



基本方針

- 1.患者さんの権利と意思を尊重します。
- 2.地域と連携し、適切ながん医療を提供します。
- 3.教育と研修を充実し、優れた医療人を育成します。

# 群馬県立がんセンターだより

## 第60号

発行：令和8年2月

発行元：群馬県立がんセンター

### GUNMA PREFECTURAL CANCER CENTER NEWS



技術部長  
佐々木 保

## 技術部長就任2年目を迎えて

技術部長として就任し、2年目を迎えることができました。私は太田市出身で、新人時代から約9年間勤務した後、他の県立2病院および保健福祉事務所での勤務を経て、2017年に当院の放射線治療課に2年間勤務しました。そして今回、3度目の赴任として群馬県立がんセンターに戻ってまいりました。振り返れば、技術者として、また一人の医療人として成長できたのは、まさにこのがんセンターでの新人時代からの経験が礎となっています。当時と比べ、建物や環境は大きく変化しましたが、「がんセンターに育ててもらった」という思いは今も変わりません。今回の赴任は、私にとって恩返しであると同時に、大切な原点へ戻る里帰りでもあります。

当院の技術部は、診療放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、調理師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士といった多職種で構成され、約100名の職員が在籍しています。看護部に次ぐ大所帯であり、それぞれが専門性を発揮しながら、診断・治療・支持療法の各場面において重要な役割を担っています。職種や立場は異なっても、「患者様にとって最善の医療とは何か」を常に考え、その実現に向けて力を尽くしたいという思いは共通しています。

ご存じのように、がん医療は日進月歩であり、技術や知識の更新が欠かせません。一方で、どれほど医療技術が進歩しても、その根底にあるべきものは、患者様一人ひとりに寄り添う姿勢であると考えています。技術部として提供する専門的な技術が、患者様への安心・安全な医療の提供の一助となることを、私たちは常に意識しています。

技術部長としての私の役割は、職員一人ひとりが安心して力を発揮できる、働きやすい職場環境を整えることだと考えています。日々の業務の中で生じるさまざまな課題や悩みを耳を傾け、問題解決の手助けをしながら、職員の成長とモチベーション向上につなげていくことが私の使命です。職員がやりがいを感じながら働ける環境こそが、質の高い医療の提供につながると信じています。

私たちは人生の約3分の1を職場で過ごします。だからこそ、一緒に働く仲間との縁を大切に、挨拶と笑顔を絶やさず、互いを尊重し合える職場でありたいと強く願っています。職種や経験年数に関わらず、意見を交わし合い、支え合える風通しの良い技術部を目指し、共に働けることへの感謝の気持ちを忘れず、日々の業務に取り組んでまいります。

当院の理念に掲げている「患者様の意思を尊重するとともに、地域と連携し、高度のがん医療を提供する」という考えのもと、技術部として貢献してまいりたいと考えております。技術部一同、誠心誠意努めてまいりますので、引き続きご指導、ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。最後に、日々現場を支えてくれている技術部職員一人ひとりに心から感謝申し上げます。これからも皆さんと共に学び、悩み、成長しながら、患者様に信頼される技術部を築いていきたいと考えています。

リレーフォーライフに参加しました



リレー・フォー・ライフは、がん患者さんやご家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧を目指すチャリティー活動です。「がん患者は24時間、がんと向き合っている」という想いを共有し、ともに歩き語らうことで、希望をつなぎます。

当がんセンターは、群馬での開催第1回から連続参加しており、皆勤賞に相当する参加率を誇ります。地域の皆さんと共に歩み、

がんと向き合うこの活動を大切に、毎年心を込めて参加しています。

開催当日は、不安定だった天候を乗り越え、多くの参加者が集い、医師とサバイバーの交流やがん啓発企画が行われました。夜にはルミナリエが灯され、幻想的な光の中で「命のリレー」が静かに続けられました。



クリスマスコンサート 2025

令和7年12月17日に「クリスマスコンサート」を2階外来ホールで開催しました。今回は群馬デリバリー楽団の山崎隆之氏を招き、アルト、ソプラノ、テナーの3種類のサクソを使用し、「すてきなホリデイ」や「恋人がサンタクロース」など、誰もがよく知っているクリスマスソング7曲が演奏されました。

入院中の患者様を中心に、約80名の方々にご来場いただき、歌詞を口ずさんだりメロディに合わせて体を揺らしたりなど、楽しい時間を過ごしました。クリスマスツリーや色とりどりの飾りの中で、生で迫力のあるサクソの音色に包まれてクリスマスの高揚感を感じることができ、素敵な一夜となりました。



群馬県立がんセンター紹介動画が完成しました



看護部やリハビリテーション課、がん相談支援センターで働くスタッフが、それぞれの役割や日々大切にしていることをご紹介します。多職種で支える医療の現場をぜひご覧ください。

動画 URL : <https://youtu.be/R-XCevYWQzQ>  
(リンク先 : YouTube

「3分で分かる群馬県立がんセンター」)



## 群馬県立がんセンター

## 第6回 がん診療連携大会の開催報告



令和7年11月21日（金）宮の森迎賓館ティアラグリーンパレスにて、「群馬県立がんセンター第6回がん診療連携大会」を開催いたしました。座長の尾嶋副院長の司会進行のもと、「ロボット支援手術の最前線」を特別講演テーマとし、当院呼吸器外科部長、泌尿器科医師よりそれぞれ当院における治療の現状について講演させていただきました。

また、講演後の交流会では、当院医師の診療科紹介、ご挨拶の場も設けました。お陰様で64名の地域の先生方にご参加いただき、盛況のうちに終わることができました。これも皆様方のご支援によるものと、心から感謝しております。今後ともよろしくお願い致します。



## 薬剤部の紹介



薬剤部は、チーム医療に参画し、有効で安全な薬物療法の推進に努めています。

がん薬物療法は、近年急速な進化を遂げていますが、それに伴い、抗がん薬が身体に与える影響も多様化してきています。薬剤師は、患者さんが使用中の薬に関する情報を把握して、副作用の発現防止に努めるとともに、発現した副作用については、状況を把握し、医師や看護師と協力して、より良い治療を提案していきます。

また、服薬指導では、わかりやすい情報提供を心掛けており、患者さんが不安を和らげ、治療への理解を深め、納得のできる薬物治療を受けられるようにサポートしていきます。お薬に関して分からないこと、不安なことがあれば、お気軽にお声がけください。



## 第47回群馬県職員球技大会（卓球の部）

## において優勝しました！



令和8年1月24日（土）にヤマト市民体育館前橋で行われた大会において、当がんセンターチームが見事優勝いたしました。看護部、技術部、事務局と様々な職種で構成されたチームですが、チームワークは出場チームの中でも随一で、全員が楽しんでプレーすることができました。応援いただいた皆様、ありがとうございました。 放射線治療課 高木